

令和6年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

- **経常収益**は、料金収入が増となったことにより**前年度比3.5%増の9億3千9百万円余**となり、**経常費用**は、仕入控除税額の減による消費税納付額の増等により**前年度比2.8%増の14億6千4百万円余**となった。
- この結果、**経常損益は前年度比1.7%減の5億2千4百万円余の赤字**となり、**純損益は、前年度比4.0%増の4億9千5百万円余の赤字**となった。

1 令和6年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度		比較	
	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益	939,887	908,238	31,649	3.5%
経常費用	1,464,161	1,423,911	40,250	2.8%
経常損益	△524,274	△515,673	△8,601	△1.7%
特別利益	(※1) 29,667	—	29,667	皆増
特別損失	(※2) 452	—	452	皆増
純損益	△495,059	△515,673	20,614	4.0%

(※1) 包括外部監査の指摘等を踏まえ、特別利益（修繕引当金取崩）を計上

(※2) 包括外部監査の指摘等を踏まえ、特別損失（電話加入権の減損処理）を計上

2 経常収益の状況

ユーザー企業の契約水量の増等により、基本使用水量、実使用水量ともに増となり、料金収入が増（2千1百万円余）となったことなどにより、前年度比3千1百万円余（3.5%）増の9億3千9百万円余となった。

3 経常費用の状況

仕入控除税額の減による消費税納付額の増等により、前年度比4千万円余（2.8%）増の14億6千4百万円余となった。

4 経常損益、純損益の状況

以上の結果、経常損益は、前年度比8百万円余（1.7%）減の5億2千4百万円余の赤字となり、純損益は、前年度比2千万円余（4.0%）増の4億9千5百万円余の赤字となった。

なお、経常損益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	58%	64.2%	6.2ポイント	経営目標を達成

5 工業用水の供給・収入状況

区分	年度		比較	
	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B
基本使用水量（千㎡）	15,483	15,038	445	3.0%
実使用水量（千㎡）	10,070	9,358	712	7.6%
超過水量（千㎡）	55	43	12	27.9%
料金収入（千円）	891,492	869,766	21,726	2.5%

<1㎡当たりの給水単価>（平成23年4月1日から）

(税抜)

料金種別	工業用水料金の額	ろ過料金の額※
基本使用水量（基本料金）	42円	35円
使用水量（使用料金）	3円	3円
超過水量（超過料金）	90円	—

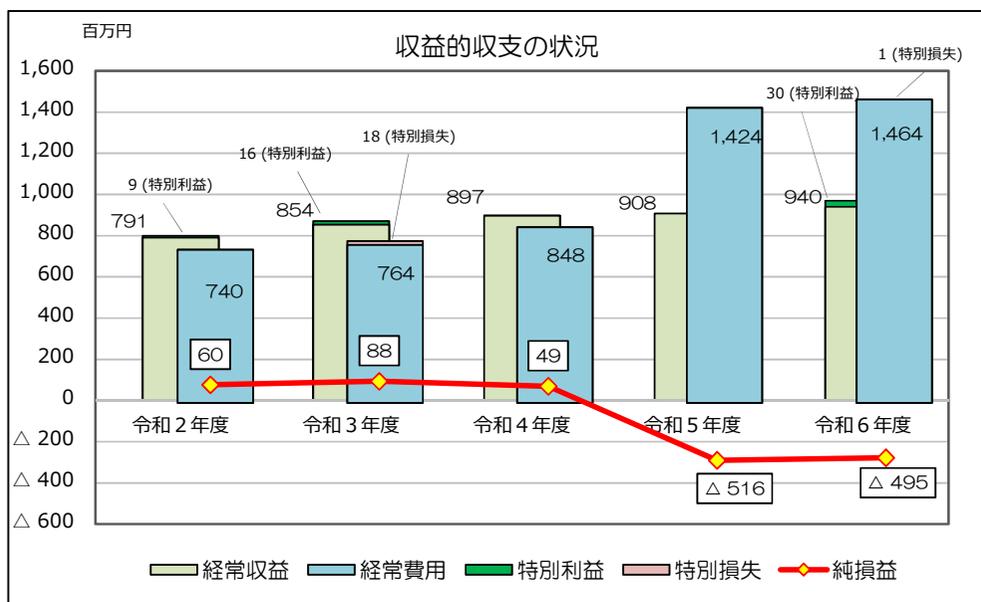
※ろ過水使用の場合は、工業用水料金に加算

【担当：経営総務室主幹兼予算経理担当課長 佐々木、主査 平賀（内線6385）】

工業用水道事業会計収益的収支の状況の推移

(税抜、単位：百万円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益	791	854	897	908	940
経常費用	740	764	848	1,424	1,464
特別利益	9	16	0	0	30
特別損失	0	18	0	0	1
純損益	60	88	49	△ 516	△ 495
(累積欠損金)	0	0	0	(△ 516)	(△ 1,011)



工業用水道使用状況の推移

(税抜、単位：百万円、千m³/年)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基本使用水量	12,230	13,306	14,442	15,038	15,483
実使用水量	7,316	8,858	9,650	9,358	10,070
うち超過水量*	55	185	119	43	55
工水料金収入	746	810	854	870	891
増減額:(当該年度-前年度)	△ 49	64	44	16	21
増減率:(当該年度-前年度)/前年度	△6.1%	8.5%	5.3%	1.9%	2.5%

* 超過水量：契約量を超える使用量

